

平成30年 7月17日

お知らせ

資料提供先：岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ
合同庁舎記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス

道の駅「鯉が窪」を拠点とした自動運転サービス 第3回 地域実験協議会を開催します！

ビジネスモデルの検討を行うための実験箇所「公募型」として選定された道の駅「鯉が窪」を拠点とした自動運転サービス実証実験の実験結果の報告のため、第3回地域実験協議会を開催します。

第3回地域実験協議会では、主に実証実験の検証結果について議論します。

1. 日 時
平成30年7月20日（金） 10:00～11:40
2. 場 所
きらめき広場・哲西 多目的ホール（岡山県新見市哲西町矢田3604）
3. 議 事
 - (1) 実証実験の実施状況について
 - (2) 実証実験の検証結果について
 - (3) 社会実装に向けた今後の方向性と課題について
 - (4) 意見交換 など

※取材（カメラ撮り）につきましては、3. 議事（2）までとさせていただきますが、会議終了後に会議資料をお配りし、岡山国道事務所担当者等がお問合せに応じますので、ご了承下さい。

※道の駅「鯉が窪」を拠点とした自動運転サービス地域実験協議会ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/service/autodrive>



※本実験は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のプロジェクトの1つとして実施するものです。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 TEL(086)214-2220（代表）
副所長(改築) 梅田 俊夫（うめだ としお）（内204）
計画課長 谷口 雄一郎（たにぐち ゆういちろう）（内261）

国土交通省 中国地方整備局 道路部交通対策課 TEL(082)221-9231（代表）
交通対策課長 後藤 英夫（ごとう ひでお）（内4511）
建設専門官 井町 和正（いまち かずまさ）（内4517）

（広報担当窓口）

国土交通省 中国地方整備局 広報広聴対策官 岩下 恭久（内2117）
企画部 環境調整官 井上 和久（内3114）
TEL(082)221-9231（代表）

**道の駅「鯉が窪」を拠点とした自動運転サービス
地域実験協議会
委員名簿**

委員	所属
橋本 成仁	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 准教授
齋藤 元雄	岡山県 土木部 道路整備課長
万代 洋士	岡山県 県民生活部 県民生活交通課長
山本 賢介	岡山県 備中県民局 建設部 地域建設部長(新見地域)
木村 俊之	新見市 副市長
小川 実	岡山県警察本部 交通部 交通企画課長
村上 隆文	岡山県警察本部 交通部 交通指導課長
寶満 智彦	岡山県警察本部 交通部 交通規制課長
山崎 博文	岡山県警 新見警察署 署長
岡崎 太郎	地元住民代表
水上 真一	道の駅「鯉が窪」駅長
雄谷 誠祐	ヤマハモーターパワープロダクツ株式会社 ゴルフカー事業推進部長
後藤 英夫	国土交通省 中国地方整備局 道路部 交通対策課長
松野 栄明	国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 所長
	国土交通省 中国運輸局 交通政策部 交通企画課長
土生 眞生	国土交通省 中国運輸局 自動車技術安全部 技術課長
岡田 和史	国土交通省 中国運輸局 岡山運輸支局 支局長
喜安 和秀	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 部長

実証実験の実施状況

- ビジネスモデルの検証を行う公募型として実証実験を道の駅「鯉が窪」(岡山県新見市)で実施【平成30年3月11日(日)～16日(金)】
- 周辺居住者・高齢者等(242名)に乗車していただき、アンケート調査を実施
- レベル4区間への交通規制、警備員の配置や交通規制の周知看板から安全管理を実施

実験拠点 道の駅「鯉が窪」



道の駅におけるバス停

社会受容性の検証



信頼性や乗り心地を確認①



信頼性や乗り心地を確認②

「道路・交通」の検証



狭小幅員での走行状況

安全管理の実施



レベル4区間の交通規制



交通規制の周知